

# 動詞の使い方・現在形 1 (規則動詞)

Ich trinke Kaffee.

私はコーヒーを飲む。



B01

この章では、動詞の使い方の基本を学びます。動詞の使い方はドイツ語文法全体を通して一つの要となります。しっかり身につけてください。

## 動詞の現在人称変化

ドイツ語の辞書を開くと、動詞の見出し語は次のような形で載っています。gehen (歩く)、kaufen (買う)、singen (歌う)、handeln (行動する)...

見出し語は単独で、gehen (歩く・歩くこと)、lesen (読む・読むこと)を意味しますが、これにich (私)、du (君)、wir (私たち)などの「主語」が付け加わって文になると、動詞はそれぞれの主語に連動して決まった「語尾変化」をすることになります。主語によって語尾変化が生じる現象は、英語でもわずかに見られます (*he sings* 3人称単数現在)が、しかしドイツ語ではどのような主語であっても動詞の語尾は必ず変化するのです。

辞書に載っている動詞の見出し語は、-en また -n の語尾で終わっています。語尾の前の部分、例えばsingen (歌う)の「sing」の部分は「語幹」と呼ばれ、その単語の「核」を作っています。

例: **singen**      **sing** + **en**  
 (歌う)          語幹 + 語尾

主語によって動詞の「語尾」が変わること、つまり「語尾変化」のしくみを以下singenの例でみたいと思いますが、その前に、主語となる人称代名詞について一言触れておきます。ドイツ語では主語代名詞として次のようなものが使われます。私→ich、君→du、彼→er、彼女

→sie、それ→es、私たち→wir、君たち→ihr、彼ら→sie、あなた(あなた方)→Sie。これらの主語により動詞は次のように変化します。

人称 (単数)	動詞の語尾変化	人称 (複数)	動詞の語尾変化
ich (私)	sing <b>e</b>	wir (私たち)	sing <b>en</b>
du (君)	sing <b>st</b>	ihr (君たち)	sing <b>t</b>
er/sie/es (彼/彼女/それ)	sing <b>t</b>	sie/Sie (彼ら/あなた・あなたたち)	sing <b>en</b>

Ich **singe** hier. 私はここで歌います。

Er **singt** allein. 彼は一人で歌う。

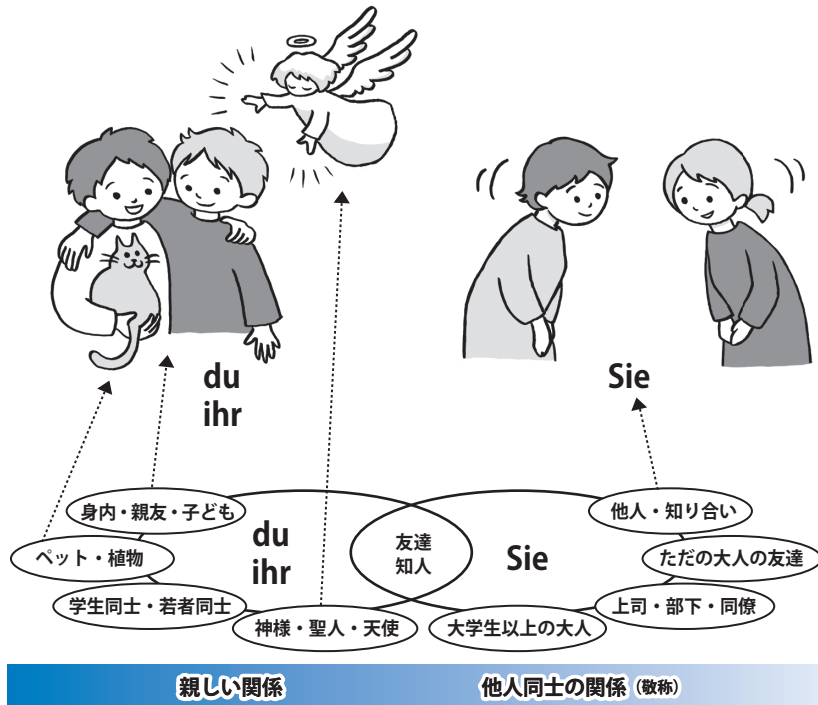
Wir **singen** zusammen. 私たちは一緒に歌います。

この表を見ると、wir (私たち)、sie (彼ら)、Sie (あなた・あなた達)などの4か所の語尾が「-en」となっています。辞書に載っている見出し語「singen」と形は同じですが、文法的には、辞書に載っている動詞の見出し語は「不定詞」、主語に応じて語尾変化した動詞は「定動詞」と区別します。「定動詞」とは、「主語によって動詞の語尾が定められた形」という意味です。

- 辞書に載っている動詞の見出し語 = 不定詞
- 主語によって語尾変化した動詞 = 定動詞

主語のdu、ihr、Sieはいずれも話し相手(2人称・英語のyouに相当)を指します。表では便宜上「君」「君たち」「あなた」「あなた方」と訳し分けていますが、この日本語と必ずしもぴったり重なるわけではありません。使い分けは話す相手との「親密度」で決まります。大雑把に言えば日本語で「です・ます」口調で話す相手にはSieを使い、親しい間柄ではdu、ihrを使います。この区別は厳密なものではないため、重なり

合う領域も存在し、人によって差が生じます。なお、敬称の2人称と呼ばれるこのSie「あなた・あなたたち」は元々3人称複数のsie(彼ら)から転用された形で、現在人称変化はsie(彼ら)と全く同じです、ただし書くときは「Sie」とSを大文字で書きます。



du, er, ihrの人称変化では、発音をなめらかにするため、以下ののように「e」の音を補う場合があります。語幹が「-d」「-t」「-gn」「-chn」などで終わる場合。

reden (しゃべる) : du redest, er redet, ihr redet

arbeiten (働く) : du arbeitest, er arbeitet, ihr arbeitet

regnen (雨が降る) : es regnet (regnenは常に主語としてesを必要とする非人称動詞)

rechnen (計算する) : du rechnest, er rechnet, ihr rechnet

## 現在形の使い方

ドイツ語は英語に比べ、現在形の使われる範囲が広いのが特徴です。英語で現在形は「真理・習慣・状態」を表し、現在行われている動作は、現在進行形 (be動詞 + -ing) で表現します。一方、ドイツ語の現在形は、「英語の現在形・現在進行形・未来形」の使用範囲をカバーでき、「明日～する」「来週～する」のように未来に関する事柄も、「明日 (morgen)」「来週 (nächste Woche)」などという語句と一緒に現在形で述べるのが普通です。ごく簡単にまとめると、話し言葉では「過去に終わった出来事」以外は全て現在形で表します。

a) 真理・習慣の例 :

Japan **liegt** in Asien. (日本はアジアに**あります**。)

【s Japan 日本、liegen ある、s Asien アジア】

Er **raucht** ständig. (彼は絶え間なくたばこを**吸う**。)

【rauchen 喫煙する、ständig 絶えず】

b) 現在進行形の例 :

Sie **duscht** gerade. (彼女は今シャワーを**浴びています**。)

【duschen シャワーを浴びる、gerade たった今】

c) 未来の例 :

Morgen **mache** ich das. (明日私はそれを**します**。)

【morgen 明日、machen する、das それ】

d) 過去から現在に続いている事柄 :

Es **regnet** seit gestern. (昨日から**雨が降っています**。)

【regnen 雨が降る (主語は常に es)、seit gestern 昨日から】



B02

## 定動詞の位置

### Nur abends trinkt sie Kräutertee.

夜だけ彼女はハーブティーを飲みます。



B09

辞書の見出し語ともなる動詞の基本形を「不定詞」と呼ぶのに対し、主語に応じて適切に人称変化した形を「定動詞」と呼びました。ドイツ語では定動詞が文構造の軸(ハブ)のようになっていて、その占める位置は文の種類により厳密に決まっています。この章では「定動詞」が文中で占める位置について、詳しく見てみます。

#### 定動詞の位置

定動詞のポジションは文の種類によって決まります。

- a) 1番目(文頭)：決定疑問文(疑問詞のない疑問文)  
 b) 2番目：平叙文、補足疑問文(疑問詞付きの疑問文)

決定疑問文では定動詞を文頭に置く、補足疑問文では「疑問詞+定動詞+それ以外の要素」という順で並べることはすでに確認済みですが、ここでb)の平叙文では2番目という規則には注意が必要です。「2番目」というのは2番目の単語ではなく、文を構成する意味の単位として2番目ということです。例えば、次の文

⇒ Er trinkt nur abends Kaffee.

彼は夜しかコーヒーを飲まない。【nur～だけ】

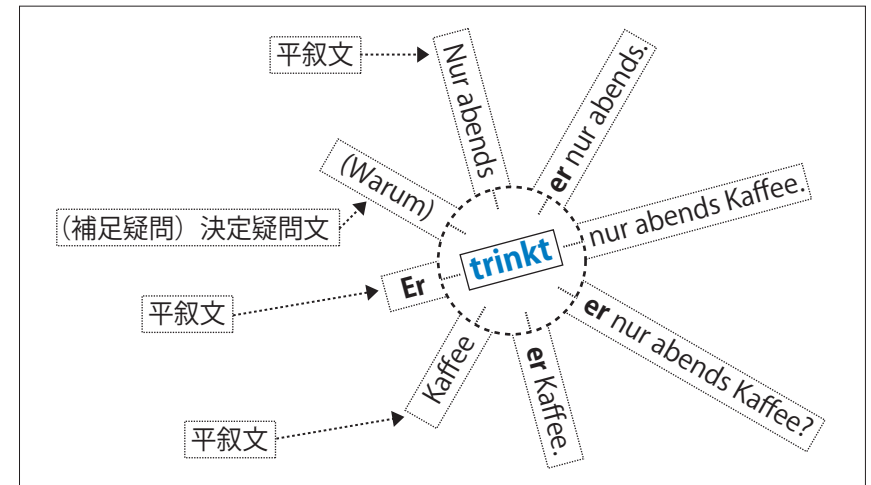
では、定動詞 trinkt が文頭から数えて2番目に来ていますが、

⇒ Nur abends trinkt er Kaffee.

夜だけしか彼はコーヒーを飲まないんだ。

では、trinktが単語としては3番目になります。ただし、nur abends(夜だけ)というフレーズは文中で常に一体として扱われ、切り離して使われることはないので、文の構成要素としては一つと見なされます。

#### 定動詞は2番目に



(warumなぜ→Warum trinkt er nur abends Kaffee? なぜ彼は夜しかコーヒーを飲まないの?)

同様に、Die Zentrale der Firma ist in Singapur.「本社はシンガポールにあります」(e Zentrale 本部、e Firma 会社)では、die Zentrale der Firma(会社の本部)がひとまとまりの概念と考えられるので、定動詞が文頭から2番目という規則にはきちんと従っています。(die Zentrale der Firmaは代名詞に置き換えると、Sie ist in Singapur.「それはシンガポールにあります。」となります。この例文で見られるように、ドイツ語では代名詞を使うとき、男性名詞はerで、女性名詞はsieで、中性名詞はesで受けるのが普通です。)

平叙文のときに定動詞を文頭から2番目に置くことはドイツ語文の大

きな特徴で、どんな場合でも厳格に守られます。そのため、一つの平叙文でも次のようなバリエーションを生みます。また語順を変えた場合には、当然ニュアンスの違いが生じます。次のEr spielt immer donnerstags Tennis. 「彼はいつも木曜日にテニスをする」(immer いつも、donnerstags木曜日に)を比較して見てください(相違がわかるように訳し分けています)。

1) Er spielt immer donnerstags Tennis.

彼はいつも木曜日にテニスをする。

2) Donnerstags spielt er immer Tennis.

木曜日だと彼はいつもテニスをしている。

3) Tennis spielt er immer donnerstags.

テニスなら彼はいつも木曜日にしている。

基本的に定動詞の左側(文頭)に来る要素に「スポットライト」を当てている感じで、何が文の主題になっているかが示されています。主語は文の主題になることが多いので、自然と文頭に置かれることが多いのだとも言えます。このことは、後に副文(20章)が登場した段階で、またお話しすることになります。

練習問題



練習 7a 指示通りに語順を変えて書きましょう。

(1) Sie übt nachmittags Klavier.

彼女は午後にピアノを練習する。【üben 練習する、nachmittags 午後に、s Klavier ピアノ】

「午後に」を文頭に → \_\_\_\_\_

「ピアノを」を文頭に → \_\_\_\_\_

(2) Sie schreibt bald eine Antwort.

彼女はまもなく返事を書きます。【bald まもなく、e Antwort 返事】

「まもなく」を文頭に → \_\_\_\_\_

「返事」を文頭に → \_\_\_\_\_

(3) Ich schlafe morgen früh bis 10.

私は明朝きつと10時まで寝ています。【schlafen 眠っている、morgen früh 明日の朝、bis 10 10時まで】

「明朝」を文頭に → \_\_\_\_\_

「10時まで」を文頭に → \_\_\_\_\_

(4) Wir machen bis nächste Woche einen Plan.

私たちは来週までにプランを作ります。【machen 作る、bis nächste Woche 来週まで、r Plan プラン】

「来週までに」を文頭に → \_\_\_\_\_

「プランを」を文頭に → \_\_\_\_\_

(5) Ich bleibe einen Monat lang hier.

私はひと月間ここに滞在します。【bleiben 留まる・滞在する、einen Monat lang ひと月間】

「ひと月間」を文頭に → \_\_\_\_\_

「ここに」を文頭に → \_\_\_\_\_



**練習 7b** 【 】内の語をヒントにして、空欄を埋め和文に相当する決定疑問文を作ってみましょう。

(1) ( ) ( ) ( ) teuer?

その本は高価ですか?【s Buch 本、teuer 高価な】

(2) ( ) ( ) ( ) Eigentumswohnung?

(私たちは)マンションを一つ買いませんか?【e Eigentumswohnung 分譲マンション】

(3) ( ) ( ) vielleicht eine Idee?

君はもしかして何かアイデアがある?【vielleicht もしかして、e Idee アイディア】

(4) ( ) ( ) ( ) gut?

その音楽は心地よいですか?【e Musik 音楽、klingen 響く・聞こえる、gut 心地よい】



**練習 7c** 【 】内の語をヒントにして、空欄を埋め和文に相当する補足疑問文を作ってみましょう。

(1) ( ) ( ) denn so etwas?

誰が一体そんなことを言うのですか?【wer 誰が、sagen 言う、denn 一体、so etwas そんなこと】

(2) ( ) ( ) ( ) eigentlich?

ところであなたはどちらにお住まいですか?【wo どこに、wohnen 住む、eigentlich ところで】

(3) ( ) ( ) ( ) mich das?

あなたはどのようにして私にそれを聞くんです?【wieso どうして、jn fragen 人<sup>4</sup>に質問する → Ich frage dich. 私は君に質問します。】

(4) ( ) ( ) ( ) noch nicht?

あなたはどなたをまだご存知ないのですか?【wen 誰を、kennen 知っている、noch nicht まだ〜でない】



**練習 7d** 【 】内の語をヒントにして、空欄を埋め和文に相当するドイツ語文を作ってみましょう。

(1) ( ) ( ) ich ( ) Brief?

私はその手紙を何で書いたらいいのだろうか?【womit 何を使って、schreiben 書く、r Brief 手紙】

(2) ( ) ( ) denn das Tablet?

あのタブレットは一体どこにあるの?【wo どこに、denn 一体、s Tablet タブレット端末】

(3) ( ) ( ) das nicht?

何で動かないんだ?【wieso なぜ、funktionieren 作動する】

(4) ( ) Akku ist leider alle.

バッテリーが残念ながら空です。【r Akku バッテリー、leider 残念ながら、alle 無くなった】